

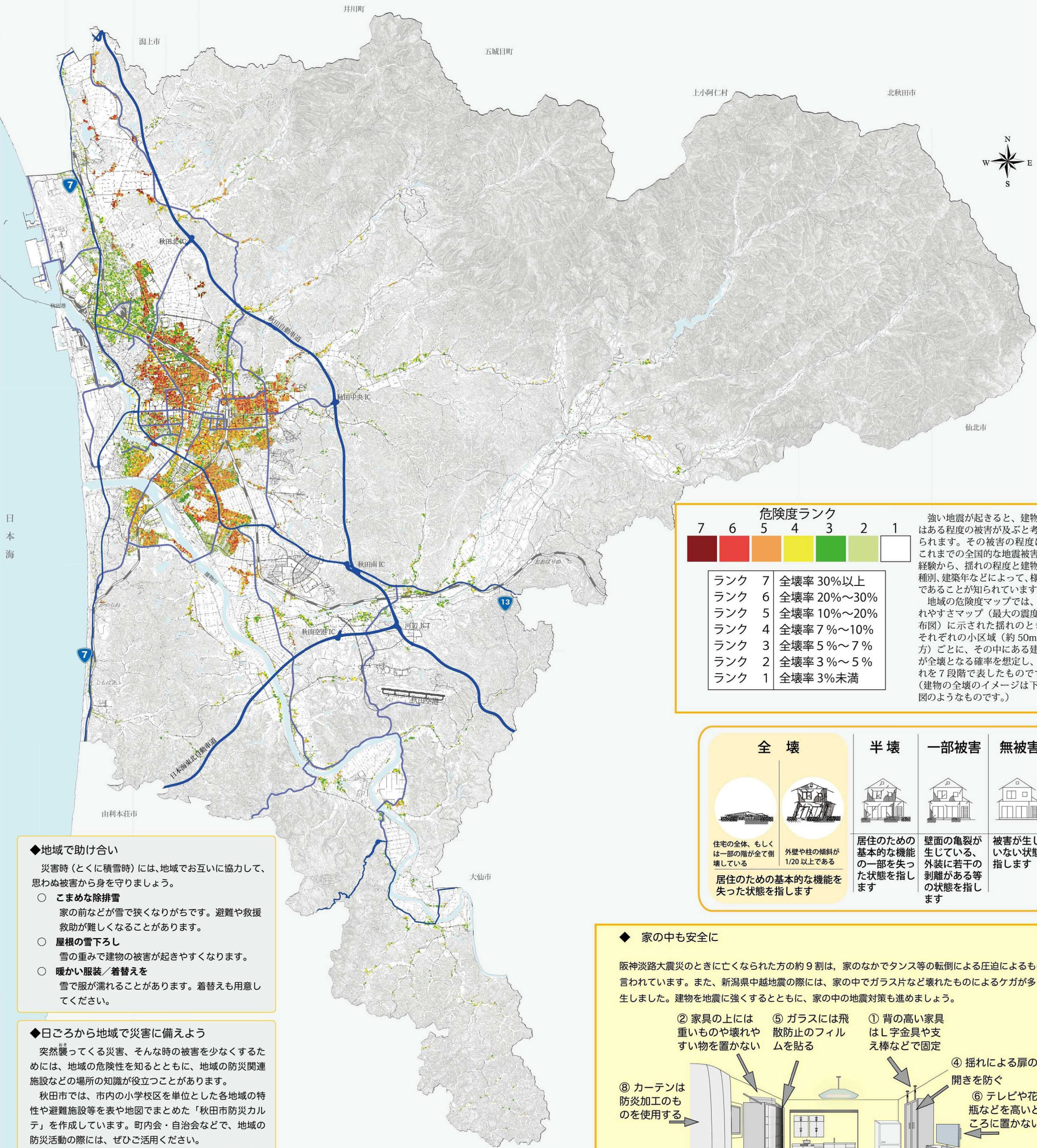
秋田市地震防災マップ

地域の危険度マップ(建物全壊率分布図)

このマップは、秋田市耐震改修促進計画に基づき、地震時の被害(建物や人身の被害)を軽減するために、秋田市内で想定される最大の揺れの場合(秋田市地震防災マップ 揺れやすさマップで示した場合)に、市内の建物の被害(全壊相当の建物がどの程度の割合で発生するかを示した比率)を示す地図として作成したものです。

強い揺れに見舞われた時、耐震性の低い建物では建物が全半壊するなどの被害や、それによる人的な被害が発生するとされています。また、強い揺れにより建物内の家具などの転倒やガラスの飛散などで、思いもかけずケガをするなどの被害も起きています。

市民の皆様がお住まいの家屋などを、耐震診断や耐震改修を行って、自らの生命と財産を守る地震に強い家屋とする際に、このマップをぜひ参考にしてください。



危険度ランク	
7	全壊率 30%以上
6	全壊率 20%~30%
5	全壊率 10%~20%
4	全壊率 7%~10%
3	全壊率 5%~7%
2	全壊率 3%~5%
1	全壊率 3%未満

強い地震が起きると、建物にはある程度の被害が及ぶと考えられます。その被害の程度は、これまでの全国的な地震被害の経験から、揺れの程度と建物の種別、建築年などによって、様々であることが知られています。地域の危険度マップでは、揺れやすさマップ(最大の震度分布図)に示された揺れのとき、それぞれの小区域(約50m四方)ごとに、その中にある建物が全壊となる確率を想定し、それを7段階で表したものです。(建物の全壊のイメージは下の図のようなものです。)

全壊	半壊	一部被害	無被害
住宅の全体、もしくは一部の層が全て倒壊している 居住のための基本的な機能を失った状態を指します	外壁や柱の傾斜が1/20以上である 居住のための基本的な機能を失った状態を指します	居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指します 壁面の亀裂が生じている、外装に若干の剥離がある等の状態を指します	被害が生じていない状態を指します

◆地域で助け合い
災害時(とくに積雪時)には、地域でお互いに協力して、思わぬ被害から身を守りましょう。

- こまめな除排雪
家の前などが雪で狭くなりがちです。避難や救援救助が難しくなることがあります。
- 屋根の雪下ろし
雪の重みで建物の被害が起きやすくなります。
- 暖かい服装/着替えを
雪で服が濡れることがあります。着替えも用意してください。

◆日ごろから地域で災害に備えよう
突然襲ってくる災害、そんな時の被害を少なくするためには、地域の危険性を知るとともに、地域の防災関連施設などの場所の知識が役立つことがあります。

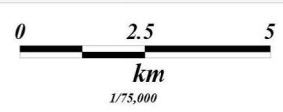
秋田市では、市内の小学校区を単位とした各地域の特性や避難施設等を表や地図でまとめた「秋田市防災カルテ」を作成しています。町内会・自治会などで、地域の防災活動の際には、ぜひ活用ください。

秋田市防災カルテは、市ホームページのほか、市民サービスセンターなどでご覧いただけます。

◆ 家の中も安全に

阪神淡路大震災のときに亡くなられた方の約9割は、家のなかでタンス等の転倒による圧迫によるものと言われています。また、新潟県中越地震の際には、家の中でガラス片など壊れたものによるケガが多く発生しました。建物を地震に強くするとともに、家の中の地震対策も進めましょう。

- ① 背の高い家具はL字金具や支え棒などで固定
- ② 家具の上には重いものや壊れやすい物を置かない
- ③ 二段重ねの家具はつなぎ目を金具でしっかり連結
- ④ 揺れによる扉の開きを防ぐ
- ⑤ ガラスには飛散防止のフィルムを貼る
- ⑥ テレビや花瓶などを高いところに置かない
- ⑦ ストープの周りには燃えやすいものを置かない
- ⑧ カーテンは防災加工のものを使用する



このマップについてのお問い合わせは、秋田市都市整備部建築指導課 ☎ 888-5769 までお寄せください。